

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損 状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
1	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	天明8.1(1～同.12.30)	—	—	原	竖帳	1冊	23.5×16.5	表紙破損大、虫損中	1に1-1を挟み込み	(地に記載)「天明八申」	当主は「水無瀬宰相」(忠成)。1月30日出火の「京都大火」の記事あり	
1-1	水無瀬家文書	口上覚(朱印改めにつき所司代役宅へ家司持参の申入れ)	(天明8.10.12.)	—	—	写	切紙	1通	15.8×24.0		1に1-1を挟み込み		日記の10月12日条の丁合に挟む。同じ記載あり	
2	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	寛政3.1.1(～同.11.23)	—	—	原	竖帳	1冊	24.0×17.3	虫損中	2に2-1・2を挟み込み	(地に記載)「寛政三亥」(裏表紙)「水無瀬家」	当主は「水無瀬宰相」(忠成)	
2-1	水無瀬家文書	〔記〕(土御門家人名)	〔寛政3.-.-〕	—	—	原	切紙	1点	16.1×4.5		2に2-1・2を挟み込み		日記の6月23・24日条の丁合に挟む。付箋か	
2-2	水無瀬家文書	〔記〕(「此儘御披露」)	〔寛政3.-.-〕	—	—	原	切紙	1点	10.0×3.5	虫損小	2に2-1・2を挟み込み		日記の7月1日条の丁合に挟む。付箋か	
3	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	寛政5.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.8×16.7	虫損中		(地に記載)「寛政五丑」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。比較的記事が少ない	
4	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	寛政9.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.8×16.7	虫損大		(地に記載)「寛政九巳」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。虫損につき開披注意	
5	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	寛政12.(1.1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.9×16.8	虫損大、シミ小、綴じ外れ		(地に記載)「寛政十二申」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。虫損につき開披注意	
6	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文化5.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.5×16.5	虫損甚大、綴じ外れ、	6に6-1を挟み込み	(地に記載)「文化五辰」	当主は「水無瀬少将」(有成)。虫損につき開披注意	
6-1	水無瀬家文書	口上覚(鍋屋仁右衛門へ用達申付けにつき大岡久兵衛代官所へ聞済み願ひ)	〔近世後期〕.-.-	—	—	写	切紙	1通	17.8×37.5	虫損中	6に6-1を挟み込み		日記の1月6日条の丁合に挟む。鍋屋仁右衛門は摂州西成郡曾根崎村の者、水無瀬家の菊紋付提灯を渡したことの承諾を求める	
7	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文化6.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.5×16.5	虫損大、シミ小		(地に記載)「文化六巳」	当主は「水無瀬少将」(有成)。虫損につき開披注意	
8	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文化14.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	23.4×16.7	虫損大	8に8-1を挟み込み	(地に記載)「文化十四丑」	当主は「水無瀬少将」(有成)。息子らしき「御児様」が見え、11月11日に袴着の式あり。虫損につき開披注意	
8-1	水無瀬家文書	〔通知状〕(叔父常楽院今晩殿死去につき)	〔文化14〕.12.23	桜井三位殿口村喜内	—	写か	切紙	1通	16.9×23.7	虫損大	8に8-1を挟み込み		日記の後ろから2丁目(歳末祝儀記事)の袋綴じ内に挟む	
9	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文政2.1.(1～同.12.29)	—	—	原	竖帳	1冊	24.2×17.2	虫損大	9に9-1を挟み込み	(地に記載)「文政二巳」	当主(有成)は「水無瀬少将」から「水無瀬中将」になる(8月22日の宣下)。虫損につき開披注意。裏表紙なし	
9-1	水無瀬家文書	〔記〕(伏見京橋来迎寺源道につき)	〔文政2〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	15.2×10.3	虫損小	9に9-1を挟み込み		日記の2月1日条の丁合に挟む	

10	水無瀬家文書	〔御日記〕(京屋敷方)	(文政8.1.4～同.12.30)	—	—	原	竪帳	1冊	23.8×17.2	冒頭欠、虫損中	10に10-1を挟み込み	(地に記載)「文政八酉」	当主は「水無瀬三位」(有成)。「御児様」は年末から「若殿様」になる。2月12日条に「水無瀬御宮御由緒書写」あり。3月12日条に2月付「異国船無二念打払令」が記されている	
10-1	水無瀬家文書	〔申入書〕(院伝奏役・評定役就任につき)	〔文政2以前か〕.3.27	—	水無瀬少将殿	写	切紙	1通	23.5×33.8	虫損中	10に10-1を挟み込み		現状では日記の5月11日条の丁合に挟む。冷泉侍従宰相を院伝奏役に、池尻前宰相を評定役に仰せ付け	
11	水無瀬家文書	〔御日記〕(京屋敷方)	(文政9.1.1～同.12.29)	—	—	原	竪帳	1冊	25.0×17.3	虫損中、綴じ外れ	11に11-1・2を挟み込み	(地に記載)「文政九戌」	当主は「水無瀬三位」(有成)	
11-1	水無瀬家文書	〔口上書〕(御用につき来る25日にお越しの依頼)	〔文政9か〕.12.22	—	桜井三位殿	原か	切紙	1通	16.4×15.0	虫損小	11に11-1・2を挟み込み		現状では日記の6月27日条の丁合に挟む	
11-2	水無瀬家文書	〔追記〕(「廿七日、両御所御礼御献上無滞相済候事」)	〔文政9.11〕.27	—	—	原	切紙	1通	16.2×9.8	虫損小	11に11-1・2を挟み込み		日記の11月25～27日条の丁合に挟む。禁中取次・仙洞取次名あり	
12	水無瀬家文書	〔御日記〕(京屋敷方)	(文政11.1.1～同.12.29)	—	—	原	竪帳	1冊	24.7×17.4	虫損中	12に12-1～3を挟み込み	(地に記載)「文十一戌」(中表紙)「文政十一戊子八月三十日ヨリ 御日記」	当主は「水無瀬三位」(有成)。サイズの異なる用紙を紅白水引で綴じ直す。途中に中表紙があるので、元は分冊か	
12-1	水無瀬家文書	口状覚(この度関東参向につき)	〔文政11か〕.1.15	綾小路殿使	—	原	切紙	1通	16.5×19.7		12に12-1～3を挟み込み	(端裏書)「水無瀬様」	現状では日記の5月23～27日条の袋綴じ内に挟む	
12-2	水無瀬家文書	〔記〕(「来廿八日瓊樹院殿百ヶ日」)	(文政11.6.23)	〔園池氏〕	—	原	札	1点	18.0×6.0		12に12-1～3を挟み込み		日記の6月23日条の袋綴じ内に挟む。関連記事あり	
12-3	水無瀬家文書	〔七月御会和歌題〕(「七月琴」)	(文政11).6.28	光成	入道一位殿、前平大納言殿ほか	写	折紙	1通	36.9×49.4	虫損中	12に12-1～3を挟み込み		日記の6月28日条の袋綴じ内挟む。同じ記載あり	
13-1	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文政12.1.(1～同.8.11)	—	—	原	竪帳	1冊	24.2×17.2	虫損・表紙破損中、綴じ外れ		(地に記載)「文政十二丑」	当主は「水無瀬三位」(有成)。「若殿」は年始回りを勤めるなど、単独での活動が増える。「水無瀬大夫」として現れる人物か。1月21日条には「水無瀬大夫殿シツサク(失策)」とある	
13-2	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文政12.8.12(9～同.12.30)	—	—	原	竪帳	1冊	24.0×17.0	虫損大、鼠害中	13-2に13-2-1を挟み込み	(地に記載)「文政十二 八月より」	当主は「水無瀬三位」(有成)	
13-2-1	水無瀬家文書	〔覚〕(桜井様・山井様の仰せにつき)	〔文政12〕.-.-	—	—	原	切紙	1通	16.7×32.6	虫損小	13-2に13-2-1を挟み込み		日記の11月21日条の袋綴じ内に挟む	
14	水無瀬家文書	御日記(京屋敷方)	文政13.7.15(～同.12.30)	—	—	原	竪帳	1冊	25.1×17.5	虫損大、シミ小		(地に記載)「文政十三 []」	当主は「水無瀬三位」(有成)。虫損につき開披注意	
15	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(宝暦4.1.20～同.12.30)	—	—	原	竪帳	1冊	24.4×17.5	虫損大、破損・シミ小、冒頭欠		(裏表紙)「宝暦四年御日記」(地に記載)「宝暦四」(表紙押紙)「宝暦四年 十七号」	当主は「水無瀬三位」(経業)だが、主に「若殿」(師成)が活動する。表紙なし。虫損につき開披注意	

16	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(宝暦7.1.1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.6×17.3	虫損大、シミ小、綴じ外れ	16に16-1～4を挟み込み	(1丁表追記)「宝暦七丑年」(地に記載)「丑」	当主は「水無瀬三位」(経業)だが、主に「若殿」(師成)が活動する。表紙なし。虫損につき開披注意	
16-1	水無瀬家文書	口上覚(由緒書・知行高など書付差出し方につき)	(宝暦7).4.13	両伝奏雑掌	—	写	切紙	1通	15.5×35.8	虫損小	16に16-1～4を挟み込み	(端裏書)「御廻状写」	所司代松平右京大夫輝高よりの申入れで、日記の4月14日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
16-2	水無瀬家文書	覚(状箱落手につき通知)	(宝暦7).6.16	永井近江守内千馬宇左衛門	水無瀬三位様御使	原か	切紙	1通	16.9×18.5	虫損中	16に16-1～4を挟み込み		現状では日記の4月16～18日条の袋綴じ内に挟む。16日条に永井氏へ先日の返書入りの書状箱を遣わした記載あり	
16-3	水無瀬家文書	〔廻状〕(畳町で殺人者逃亡につき人相書)	(宝暦7).9.20	両伝奏雑掌	—	写	切紙	1通	15.9×99.6	虫損中	16に16-1～4を挟み込み	(端裏書)「広橋様御廻文写」	日記の9月20日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり。平八店の召仕伊兵衛につき、所司代松平右京大夫輝高より触れが到来	
16-4	水無瀬家文書	〔覚〕(御太刀・馬ほか進物一覧)	〔宝暦7〕.-.-	—	—	案	切紙	1通	15.3×61.8	虫損小	16に16-1～4を挟み込み		日記の11月16・17日条の丁合に挟む。水無瀬家から同じ三位の他家に贈られるもの。11月13日条に岩姫婚礼につき町尻(三位)家から同等の進物があり、16日条に水無瀬家から答礼の進物が見える。これの案文か	
17	水無瀬家文書	御日記(本所方)	安永10／天明1.1.吉(1～同.12.29)	—	—	原	縦帳	1冊	24.6×17.4	虫損大、綴じ外れ	17に17-1・2を挟み込み	(地に記載)「安丑十」	当主は「水無瀬宮内卿」(成徳、のち忠成)。3月2日・10月18日・11月10日・12月21日条の袋綴じ内に文書を挟むが、丁ごと紙縫りで結び付けられており、開披不能。虫損につき開披注意	
17-1	水無瀬家文書	〔条文追記〕(7月7日、仙洞御所よりの使いで水無瀬法楽柳管奉行は飛鳥井中將の由)	(天明1).7.7	—	—	原	切紙	1点	16.0×18.6	虫損大	17に17-1・2を挟み込み		日記7月7・8日条の丁合に挟む	
17-2	水無瀬家文書	〔申渡し状〕(七条家雑掌藤本式部退役につき)	〔天明1〕.-.-	—	〔藤本式部〕	写	切紙	1通	16.6×不明	虫損で開披不納	17に17-1・2を挟み込み		日記の12月9日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
18	水無瀬家文書	御日記(本所方)	寛政3.(1.1～同.8.6)	—	—	原	縦帳	1冊	24.2×17.0	後欠、虫損大、綴じ外れ		(地に記載)「□□□□(寛政三亥)」	当主は「水無瀬宰相」(忠成)。虫損につき開披注意	
19	水無瀬家文書	御日記(本所方)	寛政8.(1.1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.4×16.8	虫損中、シミ小		(地に記載)「寛政八辰」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。11月13日条の袋綴じ内に文書を挟むが、丁ごと紙縫りで結び付けられており、開披不能。この年、「代々姫」が登場する。本所に迎え入れたようで、徳夜叉丸の許婚か	

20	水無瀬家文書	御日記(本所方)	寛政9.(1.1～同.12.29)	—	—	原	豎帳	1冊	24.4×17.3	虫損中		(地に記載)「寛政九巳」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。2月13日・8月17日条の袋綴じ内に文書が挟まれているが、丁ごと紙縫りで結び付けられており、開披不能。9月中旬に古今伝授につき真読大般若執行記事あり	
21	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(寛政11.1.1～同.12.30)	—	—	原	豎帳	1冊	24.0×17.2	虫損中		(地に記載)「寛政十一未」	当主は「水無瀬徳夜叉丸」(有成)。表紙なし。11月16日条に徳夜叉丸の「下帯始」、代々姫の「醬水(鉄漿)初」の祝儀記事あり	
22	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	文化2.(1.1～同.12.27)	—	—	原	豎帳	1冊	24.0×17.2	虫損中、シミ小	22に22-1・2を挟み込み	(地に記載)「文化二丑」	当主は「水無瀬侍従」(有成)。表紙には年号だけ記す。12月に婚礼記事あり(11日京で婚礼、12日荷物入り、13日入殿)	
22-1	水無瀬家文書	〔書状〕(町尻氏所労見舞い、福井への葉謝につき)	(文化2).7.5	吉田主殿	御雑掌中	原	切紙	1通	15.6×52.3		22に22-1・2を挟み込み		日記の7月4・5日条の丁合に挟む	
22-2	水無瀬家文書	〔記〕(蔵入り百姓の石高につき)	〔文化2〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	17.6×10.8	虫損小	22に22-1・2を挟み込み		現状では日記の11月4・5日条の丁合に挟む。高計122石8斗	
23	水無瀬家文書	御日記(本所方)	文化7.1.(1～同.12.22)	—	—	原	豎帳	1冊	24.5×17.3		23に23-1～9を挟み込み	(地に記載)「文化午七」	当主は「水無瀬少将」(有成)。比較的記事が少ない	
23-1	水無瀬家文書	〔書状〕(来春よりの俵約仕法につき)	〔文化6か〕.12.24	広幡殿御家長沢掃部・佐竹左京	水無瀬様御雑掌中	原	切紙	1通	14.5×34.5		23に23-1～9を挟み込み		現状では日記の2月11～13日条の丁合に挟む	
23-2	水無瀬家文書	〔通知書〕(「和歌御会御人数嘉日御礼ヶ所」)	〔文化7か〕.-.-	—	—	原	切紙	1通	15.5×42.7		23に23-1～9を挟み込み		現状では日記の2月16～18日条の丁合に挟む。禁中・東宮・仙洞、御会奉行・殿下(当番議奏)、および冷泉入道が見える	
23-3	水無瀬家文書	口上覚(南都薬師寺修復勸化の触れ)	(文化7).5.6	両伝奏雑掌	水無瀬少将様御家来中	写	切紙	1通	15.6×56.9		23に23-1～9を挟み込み		日記の5月18日条に挟む。午4月付の幕府触れで、同じ記載あり	
23-4	水無瀬家文書	口状(内侍所仮殿立柱等のため僧尼参内は憚るべき通知)	(文化7).5.13	有政・伊光	水無瀬少将殿	写	切紙	1通	15.8×28.1		23に23-1～9を挟み込み		日記の5月18日条に挟む。同じ記載あり	
23-5	水無瀬家文書	口上(酒井讃岐守殿上京につき行向の案内)	〔文化6か〕.3.9	両伝奏雑掌	水無瀬少将様御家来中	写	切紙	1通	15.1×79.0	虫損中	23に23-1～9を挟み込み		現状では日記の7月8～10日条の丁合に挟む。酒井讃岐守(忠進)は文化5年12月10日、京都所司代に補任される	
23-6	水無瀬家文書	六条様より御廻文写(「口上覚」京都福井作左衛門方より枅改めの触れ)	(文化7).7.18	両伝奏雑掌	水無瀬少将様御家来中	写	切紙	1通	15.3×84.37		23に23-1～9を挟み込み	(端書)「一、六条様より御廻文写」	日記の7月23・24日条の袋綴じ内に挟む。午2月付の幕府触れだが、記載なし	
23-7	水無瀬家文書	〔書状〕(少将殿放生会参向時の道具・人足借用につき)	(文化7).8.6	大浦丹後介	星坂左近少監様	原	切紙	1通	15.9×134.0	虫損中	23に23-1～9を挟み込み	(端裏書)「入用書」	日記の8月14・15日条の丁合に挟む。庶流の桜井家に借用を依頼したらしい。差出人は桜井家の家臣と思われる	

23-8	水無瀬家文書	〔書状〕(少将殿参向時の道具・人足手配につき再報)	(文化7).8.11	大浦丹後介	星坂左近少監様	原	切紙	1通	16.1×45.2	虫損小	23に23-1～9を挟み込み		日記の8月14・15日条の丁合に挟む。	
23-9	水無瀬家文書	〔露身院・誠心院戒名覚〕	(文化7).-.-	—	—	原	切紙	1点	16.4×8.8		23に23-1～9を挟み込み		日記の9月3日条の丁合に挟む。露身院50回忌・誠心院17回忌の記事あり	
24	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(文化9.1.1～同.12.4)	—	—	原	縦帳	1冊	25.3×17.8	表紙・末尾欠か、虫損中、綴じ外れ	24に24-1～9を挟み込み	(表に付箋)「十一号」	当主は「水無瀬少将」(有成)。比較的文章が少ない	
24-1	水無瀬家文書	〔名刺〕(「新善法寺法眼使者三田村錦作」)	(文化9).-.-	—	—	原	切紙	1点	14.8×4.3		24に24-1～9を挟み込み		日記の1月18・19日条の袋綴じ内に挟む。18日条に挨拶に来た旨、記載あり	
24-2	水無瀬家文書	六条様より御廻文写(「口状」関東使戸田備後守参内につき)	〔文化9〕.1.28	有庸・伊光	水無瀬少将殿	写	切紙	1通	15.9×21.8	虫損小	24に24-1～9を挟み込み		日記の2月8・9日条の丁合に挟む	
24-3	水無瀬家文書	六条様より御廻文写(「口状」宮中神事のため僧尼参内は憚るべき通知)	〔文化9〕.1.29	有庸・伊光	水無瀬少将殿	写	切紙	1通	15.8×32.8	虫損小	24に24-1～9を挟み込み		日記の2月8・9日条の丁合に挟む	
24-4	水無瀬家文書	〔申入書〕(水無瀬有成舅、成満寺慶厳死去につき)	〔文化9〕.2.5	有成	広橋前大納言殿、六条前大納言殿	原	折紙	1通	32.6×45.8	虫損中	24に24-1～9を挟み込み		日記の2月8・9日条の丁合に挟む。成満寺は肥後熊本にあり。24-4・7・8は同内容	
24-5	水無瀬家文書	六条様より御廻文写(「口上覚」火用心、および花の時節につき徘徊無用の申入れ)	(文化9).2.12	両伝奏雑掌	水無瀬少将様御家来中	写	切紙	1通	15.8×47.2	虫損小	24に24-1～9を挟み込み	(封書上書)「御雑掌様 吉田主殿」	日記の2月13日条の丁合に挟む。同じ記載あり	
24-6	水無瀬家文書	内府殿御廻状(御祖母逝去につき)	(文化9).3.4	御使森島造酒	—	写	切紙	1通	15.7×29.3	虫損小	24に24-1～9を挟み込み		日記の3月16・17日条の袋綴じ内に挟む。近衛家よりとして同じ記載あり	
24-7	水無瀬家文書	〔申入書〕(一位殿次男、成満寺殿死去につき)	〔文化9〕.2.4	一位殿使	—	原	切紙	1通	16.5×11.4	虫損小	24に24-1～9を挟み込み		日記の3月29日・4月1日条の袋綴じ内に挟む。24-4・7・8は同内容	
24-8	水無瀬家文書	〔申入書〕(隆前次男、成満寺慶厳死去につき)	〔文化9〕.2.4	隆前	広橋前大納言殿、六条前大納言殿	原	切紙	1通	15.6×39.7		24に24-1～9を挟み込み		日記の3月29日・4月1日条の袋綴じ内に挟む。24-4・7・8は同内容	
24-9	水無瀬家文書	口上覚(浪人体の者徘徊取締りにつき触れ)	(文化9).7.11	両伝奏雑掌	水無瀬少将様御家来中	写	切紙	1通	15.4×72.0	虫損小	24に24-1～9を挟み込み		申6月付の幕府触れ、日記の7月16日条の丁合に挟む。同じ記載あり	
25	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(文化13.1.1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	25.0×17.1	表紙欠、虫損中	25に25-1～12を挟み込み	(天に記載)「文化十三」	当主は「水無瀬少将」(有成)	
25-1	水無瀬家文書	〔書状〕(京都町奉行所より家来呼出しにつき)	(文化13).2.17	星坂左近少監	小泉長門守様、下村隼人様	原	切紙	1通	15.5×68.9	虫損小	25に25-1～12を挟み込み		日記の2月17日条の袋綴じ内に挟む。関連記事あり	
25-2	水無瀬家文書	〔書状〕(中宮ほか飛香舎へお移りにつき参賀の件)	(文化13).2.21	経久	水無瀬少将殿	写	切紙	1通	14.8×55.5	虫損中	25に25-1～12を挟み込み	(端書)「大炊御門様より御伝達也」	日記の2月24日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
25-3	水無瀬家文書	左府殿御口状(大夫殿左近衛権少将推任につき)	(文化13).3.1	林縫殿	—	写	切紙	1通	14.7×22.4	虫損小	25に25-1～12を挟み込み		日記の3月4日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
25-4	水無瀬家文書	〔書状〕(西国筋罷り越しにつき)	〔文化13〕.-.-	—	—	写	切紙	1通	16.4×17.1	虫損中	25に25-1～12を挟み込み		日記の3月29日・4月1日条の袋綴じ内に挟む	

25-5	水無瀬家文書	口上覚(公方様右大臣転任等の祝賀につき議奏よりの申入れ)	(文化13).4.12	水無瀬少将殿家星坂左近少監	唐橋前大納言様御内浜路雅楽権助殿・築山左膳殿、甘露寺大納言様御内藤本一学殿ほか1名	写	切紙	1通	15.4×66.1	虫損小	25に25-1～12を挟み込み		日記の4月15日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
25-6	水無瀬家文書	以口上書奉申上候(水無瀬川筋かき込みにつき)	文化13.8.29	庄屋才次郎、代友吉(印)	御役人中様	原	切紙	1通	25.5×31.9	虫損中	25に25-1～12を挟み込み		現状では日記の4月18・19日条の袋綴じ内に挟む	
25-7	水無瀬家文書	〔書状〕(来年3月中旬讓位治定につき)	(文化13).5.15	公修	水無瀬少将殿	原か	切紙	1通	17.6×33.6	虫損中	25に25-1～12を挟み込み		日記の5月16日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
25-8	水無瀬家文書	〔申入書〕(堂上方卑俗体にて徘徊の者取締りにつき)	(文化13).閏8.10	資矩	四辻前大納言殿	原	切紙	1通	16.6×46.0	虫損小	25に25-1～12を挟み込み		日記の9月12日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
25-9	水無瀬家文書	〔書状〕(少将殿引籠り中の御宮御用につき)	(文化13).閏8.15	供秀	星坂左近少監殿	原	折紙	1通	30.1×44.5	虫損中	25に25-1～12を挟み込み		日記の10月12・13日条の袋綴じ内に挟む。料紙は斜めに折り上げ、略封とする	
25-10	水無瀬家文書	〔申入書送り状〕	(文化13).10.22	信元	水無瀬殿	原	切紙	1通	19.7×27.0		25に25-1～12を挟み込み		日記の10月22日条の丁合に25-11と共に挟む。同じ記載あり	
25-11	水無瀬家文書	〔申入書〕(来年冬女御入内治定につき)	(文化13).10.22	信元	水無瀬少将殿	原	折紙	1通	32.0×44.2	虫損小	25に25-1～12を挟み込み		日記の10月22日条の丁合に25-10と共に挟む。同じ記載あり	
25-12	水無瀬家文書	乍恐御願奉申上候(居宅東側の小屋破損につき普請願い)	文化13.11.4	願主辰三郎(印)、庄屋才次郎(印)	御殿御役人様	原	縦紙	1通	27.9×39.2	虫損大	25に25-1～12を挟み込み		現状では日記の11月22・23日条の袋綴じ内に挟む	
26	水無瀬家文書	御日鑑(本所方)	文化15.1.(1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.7×16.5				日々の勤行と当番の寺坊を記入。当主(有成)の動向はほとんど記さない	
27	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(文政4.1.1～同.12.19)	—	—	原	縦帳	1冊	23.5×16.2	虫損小	27に27-1～6を挟み込み	(地に記載)「文政四巳」	当主は「水無瀬三位」(有成)。比較的記事が少ない	
27-1	水無瀬家文書	口上／口状(蓮華光院門跡遷化・春日祭神事につき)	(文政4).1.24／1.25	忠言、胤定	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	15.6×40.8		27に27-1～6を挟み込み		日記の1月25日条の丁合に挟む。同じ記載あり	
27-2	水無瀬家文書	〔申入書〕(洞中触穢、禁裏ほか触穢につき)	(文政4).6.10／6.12	通明／忠言、胤定	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	16.0×57.0		27に27-1～6を挟み込み		日記の6月13日条の丁合に挟む。同じ記載あり	
27-3	水無瀬家文書	御廻文写(来る22日煤払いにつき)	〔文政4〕.-.-	—	—	写	切紙	1通	16.5×42.4		27に27-1～6を挟み込み		現状では日記の7月18～20日条の丁合に挟む。禁裏御所使の生駒山国より廻文。それへの対応も付記する	
27-4	水無瀬家文書	〔申入書〕(故前中納言の忌明けにつき)	〔文政4〕.9.-	外山殿使	—	原	切紙	1通	15.2×18.5		27に27-1～6を挟み込み	(端裏書)「水無瀬様」	現状では日記の11月晦日～12月1日条の丁合に27-5と共に挟む。故前中納言は外山光美(正二位)で8月7日薨去	
27-5	水無瀬家文書	〔申入書〕(叔父前式部大輔薨去につき)	〔文政4〕.9.28	東坊城殿使	—	原	切紙	1通	15.7×9.8		27に27-1～6を挟み込み	(端裏書)「水無瀬様」	現状では日記の11月晦日～12月1日条の丁合に27-4と共に挟む	
27-6	水無瀬家文書	口上覚(去る卯年大川筋普請入用高役銀の手形差出し方につき)	(文政4).12.10	両伝奏雑掌	水無瀬三位様御家来中	写	切紙	1通	16.4×25.1		27に27-1～6を挟み込み		日記の12月11日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	

28	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(文政5.1.2～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.8×17.2	表紙・冒頭欠、虫損中、シミ・汚損中、綴じ外れ	28に28-1～13を挟み込み	(地に記載)「文政五午」	当主は「水無瀬三位」(有成)。比較的記事が少ない	
28-1	水無瀬家文書	〔書状〕(禁裏より舞御覧の廻文への対応につき)	(文政5).1.20	下村隼人	—	原	切紙	1通	15.9×41.9	虫損小	28に28-1～13を挟み込み		日記の1月21・22日条の袋綴じ内に挟む	
28-2	水無瀬家文書	〔申入書〕(主上庖瘡治定により御機嫌窺いにつき)	(文政5).閏1.23	公敬	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	17.1×31.8	虫損小	28に28-1～13を挟み込み		日記の閏1月24日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり。京都加番よりの申入れを伝えたもの	
28-3	水無瀬家文書	御湯殿図	〔文政5〕.-.-	—	—	原	縦紙	1枚	33.9×23.9	虫損小	28に28-1～13を挟み込み		現状では日記の2月15日条の丁合に挟む。平面略図	
28-4	水無瀬家文書	口状(治宮逝去につき禁中・洞中物音禁止につき)	(文政5).7.5	国長、胤定	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	16.5×30.1		28に28-1～13を挟み込み。 28-4～7を紐で一括	(括り紐に記載)「京都飛脚」	日記の7月5日条の袋綴じ内に28-4～7の一括文書を挟む。同じ記載あり	
28-5	水無瀬家文書	口上(明日の御花献上、両御所へ御機嫌窺いにつき)	(文政5).7.6	—	—	写	切紙	1通	16.5×42.6		28に28-1～13を挟み込み。 28-4～7を紐で一括		日記の7月5日条の袋綴じ内に28-4～7の一括文書を挟む。同じ記載あり	
28-6	水無瀬家文書	〔申入書〕(七夕御会の中止)	(文政5).7.6	禁裏御所御奉行庭田中納言様 使番伊地知直記	—	写	切紙	1通	16.5×20.5		28に28-1～13を挟み込み。 28-4～7を紐で一括		日記の7月5日条の袋綴じ内に28-4～7の一括文書を挟む。同じ記載あり	
28-7	水無瀬家文書	〔書状〕(明日下向につき)	(文政5).7.6	井上九十九	御本殿にて御詰番中様	原	切紙	1通	16.6×42.5		28に28-1～13を挟み込み。 28-4～7を紐で一括		日記の7月5日条の袋綴じ内に28-4～7の一括文書を挟む	
28-8	水無瀬家文書	〔御志の札〕(「光摂院殿朗誉真月延寿大姉七回忌志」)	(文政5.8.3)	—	—	原	札	1点	20.5×3.5		28に28-1～13を挟み込み		日記の8月3日条の袋綴じ内に挟む。関連記事あり	
28-9	水無瀬家文書	〔到来物控〕	〔文政5〕.-.-	—	—	原	横帳	1冊 (2丁)	12.3×34.2		28に28-1～13を挟み込み		現状では日記の8月6・7日条の袋綴じ内に挟む。仏事用と思われ、光摂院七回忌に関係か	
28-10	水無瀬家文書	〔口上覚〕(当春参向の公家衆等旅行荷物の賃銭渡し方につき申入れ)	(文政5).8.17	両伝奏雑掌	水無瀬三位様御家来中	写	切紙	1通	15.9×77.1		28に28-1～13を挟み込み		日記の8月19日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり。所司代松平和泉守よりの通達	
28-11	水無瀬家文書	広橋一位様より口状(一条院宮遷化につき廃朝、物音禁止につき)	(文政5).8.24	国長、胤定	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	15.8×29.0		28に28-1～13を挟み込み	(裏書)「御当番中 下村隼人」	日記の8月27日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
28-12	水無瀬家文書	口状(御鎮守の正遷宮に伴う洞中神事、および伊勢例幣神事につき)	(文政5).8.27	国長、胤定	水無瀬三位殿	写	切紙	1通	15.8×35.0		28に28-1～13を挟み込み		日記の9月1日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	

28-13	水無瀬家文書	〔書付〕(堤普請出来につき)	(文政5).9.8	加藤良蔵	—	原	16.1	1通	16.1×30.8	虫損小	28に28-1～13を挟み込み		日記の9月8日条の袋綴じ内に挟む。同じ記載あり	
29	水無瀬家文書	〔御日記〕(本所方)	(文政8.1.1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.5×17.0	表紙・冒頭欠、虫損中、綴じ外れ	29に29-1を挟み込み	(地に記載)「文政八酉」	当主は「水無瀬三位」(有成)	
29-1	水無瀬家文書	〔久修苑寺末派覚〕(丹州増長院尊光和尚ほか7名)	〔文政8〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	23.9×14.3	虫損小	29に29-1を挟み込み		現状では日記の3月28・29日条の丁合に挟む。日記と筆跡異なる	
30	水無瀬家文書	御日記(本所方)	文政9.1.(1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.1×17.1	裏表紙破損、虫損中、シミ小		(地に記載)「文政九戌」	当主は「水無瀬三位」(有成)	
31	水無瀬家文書	御日記(本所方)	文政11.1.(1～同.12.28)	—	—	原	縦帳	1冊	24.3×17.2	表紙一部破損、虫損小			当主は「水無瀬三位」(有成)。比較的記事が少ない。紅白の水引で綴じ直しされている	
32	水無瀬家文書	御日記(本所方)	(文久3.1.1～同.12.30)	—	—	原	縦帳	1冊	24.2×16.9	表紙欠、虫損小、綴じ外れ	32に32-1・2を挟み込み	(地に記載)「文久三亥」	当主は「水無瀬前中納言」(有成)。3月22日条に水無瀬宮で攘夷の臨時祈祷、春には孝明天皇の攘夷祈願の行幸、将軍徳川家茂の上洛、また、8月19日条に前日の政変についての一報が見える	
32-1	水無瀬家文書	〔名刺〕(「松平甲斐守使者堀猷五郎」)	(文久3).-.-	—	—	原	切紙	1点	13.2×3.7	虫損中	32に32-1・2を挟み込み		現状では日記の1月13～16日条の丁合に挟む。松平甲斐守は6月12日条以下に見える	
32-2	水無瀬家文書	〔書状断簡〕(米石代差上げの相談につき)	〔文久3〕.-.-	—	—	原か	断簡	1通	23.9×19.0	虫損小	32に32-1・2を挟み込み		現状では日記の11月26～29日条の丁合に挟む	
33	水無瀬家文書	六百年御忌雑記	(天保7.5.2～同.7.4)	—	—	原	縦帳	1冊	23.7×16.7	虫損・シミ小			天保8年2月に後鳥羽院600年忌(水無瀬宮600年忌)執行のため準備について記す	